

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曽ツーリズム推進事業
事業主体 (連絡先)	木曽広域連合 木曽郡木曽町日義 4898-37 (TEL 0264-23-1050)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,848,880円 (うち支援金: 1,411,000円)

事業内容

減少傾向にある観光客の回復及び木曽地域を活性化させるため、令和2年度に作成した小冊子「蔵・樽・桶をめぐる発酵を食す木曽の旅」を具体化し、モニターツアーを実施、その結果に基づき商品化についてDMO等に提案し、検討してもらうとともに、アフターコロナを見据えたインバウンドの回復に向けて、同冊子を英語翻訳して、WEBに公開し、メルマガにて告知することでインバウンドが主に使用しているスマートフォンやタブレットにて情報収集し易い環境を整える。

- (1) 「木曽の旅」モニターツアーの実施及び商品提案
- (2) 「木曽の旅」英語データ版の作成
- (3) 外国人を対象としたメルマガ告知

事業効果

①モニターツアーの実施については募集定員に達することができず、参加者の偏りもあったが、ツアーで巡った蔵元、工房や宿では概ね丁寧な説明ができたことにより受入体制が整備できた。また、実施したアンケートを元にDMO等に商品提案する企画提案書を作成し配布することができた。

企画提案 郡内旅行業者等 8社

②英語データ版については、翻訳から校正までの遅延に伴い、WEBの公開及び外国人向けメルマガ告知も遅延した。メルマガ後のアクセス数は英語版に限って比較すると減少しているものの、木曽路.com全体及びメルマガ実施後の1日平均での比較では増加しており一定の効果はあった。

木曽路.com R3.4~R4.2 840,597件(前年比7.6%増)

メルマガ告知月 R4.2 実施前 1,648件/日

実施後 2,726件/日(65.4%増)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「蔵・樽・桶をめぐる発酵を食す木曽の旅」については、今回のモニターツアーの意見を参考に地域の受入れ体制をブラッシュアップするとともに、DMO等には商品化を促していきたい。

新型コロナウイルス感染症の影響により激減しているインバウンドが回復することを見据えて木曽路.com(日本語版・英語版)のアクセス数等を注視し、今回作成した英語データ版の反響が良ければ、紙媒体での作成や外国人向けツアーの検討をしていきたい。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【木曽の旅モニターツアー】

【目標・ねらい】

- ①モニターツアー実施結果に基づく商品提案
- ②KISOJI.comのアクセス数増加

※自己評価【C】

【理由】

モニターツアーの実施については募集定員に達することができず参加者も県内在住の女性となってしまう偏りがあった。

当初、英語データ版の公開を10月に計画していたが、翻訳から校正までが遅延ことに伴い、公開も遅くなり効果が薄かったと思われる。